

ニユーヨーク株式・金融

ニユーヨーク株式市況

一、經濟界稍々見直しの徵

ニユーヨーク 二月十四日(土)

株は今週俄然強調を呈し、一部の株價は本年の最高値に達した。最近一般公衆の買ひ物が増加したが、然し相場暴騰の主因は空賣りの買ひ埋め及び買ひ聯台の活躍による。而して斯く買ひ物の増加した原因は鋼鐵相場の一般的引上見越し、大戰出征軍人恩給の後相場の騰勢は鈍り、多額の利喰ひ賣りが續出した。

一方經濟界は最近稍々見直しの徵候が見えて來た。然しこれは既に相場の騰貴によつて書入れ済みとなつてゐる。然し乍ら多くの銀行界、經濟界の有力者は最近の相場の騰貴を以て單に表面的現象に過ぎない見てる。債券は聴き。然し需要は二流物に集中されてゐる。外國物はマチャマチ。

ニユーヨーク株式活況

ニユーヨーク 二月九日(月)

本日のニユーヨーク株式は俄然二ドル乃至五ドルの奔騰を演じ、軟派は全線に亘つて急遽退却をはじめた。而して取引は頗る活況を呈し、賣買出來高は四百十萬株の多きに達した。

斯く思惑熱が擡頭したのはヴァーキュード石油會社との合同案が法律的に承認された爲めで、これが動機となつて石油株、鋼鐵株、公共事業は特に強調を呈した。

(備考) ニューヨーク・スタンダード石油、ヴァーキュウム石油との合同案が起つたのは昨年二月の事であるが、これがトラスト禁止法に反しはしないかとの懸念があつたので今迄裁判所で調査中だつたのである。

ニューヨーク・スタンダードはスタンダード石油會社で、資本金四億三千四百萬ドル、ヴァーキュウムは資本金一億二千八百萬ドル、兩社合併後はセネラル

石油會社(General Petroleum Corporation)なる持株會社を設立することになつてゐる。

ニユーヨーク 二月十日(火)

去る九日俄然活況を呈したニユーヨーク株式市場は十日も依然活氣衰へず株の如きは約四ドル方の昂騰を見たせが、これは一月末に於ける同社鋼鐵註文残高が四百三十三萬二千トンと意外に多かつた爲である。この外に穀物、棉花、銅、銀等が聴りしてゐる事も好材料であった。利喰賣りは時々出たが一向利き目なく相場は上向歩調をゆるめなかつたが、引際には又復新たに利喰ひ賣り現はれ高値より幾分引弛んだ然し引際氣配は強硬であつた。諸株賣買出來高は四百八十萬株。

ニユーヨーク 二月十一日(水)

本日は初め利喰ひ賣りが現はれたが買ひ方よく耐え次で硬軟兩派の争奪戦となつたが、結局硬派の形勢有利であった。これは銅相場が續騰してゐる結果の商工界情報が幾分好くなつてゐる爲めである。然し乍らその後連續的に利喰ひ賣りが出たので大引の氣配は區々となつてゐる。本日の賣買出來高は四百七十萬株。

ニユーヨーク 二月十二日(木)

本日は初め利喰ひ賣りが現はれたが

イギリス最大のレーヨン會社たるコートールズ會社は一九三〇年度株式配當率を六分(無税)と発表した。一九二九年の配當率一割(無税)に比し四分の減配である。なほ一九三〇年度純益及後期繰越金は左の通り発表せられた。

(備考) コートールズ會社の資本金は八百萬磅。過去數年の純益及び繰越金及び配當率は左の通り。

イギリス下院に於ける議員の質問に応じインド事務大臣ウエヂウッドベン氏はインドのルーピー爲替比率問題について左の如く明言した。

ルーピー爲替比率問題は既に一九二七年に一段落を告げたものと政府は考へてゐる。而してその際に決定した一シル六ペニスの比率は如何にしても維持努力する積りである。

なほ新憲法實施後は通貨及び爲替は

インド準備銀行に取扱はせる事となる。

この準備銀行の設立は印度總督の權限に屬するものである。

支那爲替暴落

上海 二月十三日(金)

国民政府財政部長宋子文氏が國民政府は金本位採用に就て徹底的手段を執らんこつゝあると、新聞記者に聲明したとの南京電報を移して爲替相場は俄然軟化し左の如く暴落した。

(備考) ニューヨーク・スタンダード石油、

ヴァーキュウム石油との合同案が起つたので今迄裁判所で調査中だつたのである。

ニューヨーク・スタンダードはスタンダード石油會社で、資本金四億三千四百萬ドル、ヴァーキュウムは資本金一億二千八百萬ドル、兩社合併後はセネラル

ロンドン株式市況

ロンドン 二月十二日(木)

ニユーヨーク株式高の入報に氣配は稍々引立つて來た。然し一般素人筋が依然之に應じないので、商内の數量は引續き少ない。昨夕の經濟國難についのスノーデン藏相の演説に對する市場の意見は目下區々である。然し市況は各方面とも頗る閑散で、優等證券及びインド證券は下押した。ヨーロッパ證券中特記すべきはドイツ公債が引續き強調を呈してゐる事である。一方支那公債はモラリトアム(支拂延期)の懸念で軟調を呈し、日本公債は手堅い。

ケーブルス・ワイヤレス株は本日強調を示してゐるが、之等國際關係の株を除けば工業株は大部分無材料である

を除けば工業株は大部分無材料である

石油株はニユーヨーク株式高に聴りを呈し、ゴム株は稍々下押した。

ロンドン金融市況

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

爲替・銀塊

ロンドン 二月十二日(木)

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

ロンドン外國爲替市況

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

爲替・銀塊

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

ロンドン銀塊市況

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

香港爲替市場の動搖

香港 二月十三日(金)

香港外國爲替市場は十三日(金)午後俄然大動搖を來し、賣り手は極めて少ない。ボンド爲替の賣手相場は一ドルに付十ペニス八分七(當日の寄付より十六分五安)見當なるべく、その他向のレートは得られない。

最近市場が軟調を呈したのは買ひ物に付十ペニス八分七(當日の寄付より十六分五安)見當なるべく、その他向のレートは得られない。

南アフリカの金產地トランスヴァー

ルに於ける昨年中の金產額は一千〇七十一萬八千五百十五オントスで、一昨年

の一千〇四十一萬四千〇六十六オントスに比し二・八ペニスの増加である

過去數年のトランスヴァールの金產額は左の通り。(單位千オントス)

十一萬八千五百十五オントスで、一昨年

の一千〇四十一萬四千〇六十六オントスに比し二・八ペニスの増加である

金本位制採用決心明白

南京 二月十三日(金)

民政府が愈々金本位制採用の壯を定め可く速かにこれを實現すべく眞剣に準備を進めつゝある事は最早極めて確かな如く、財政部長宋子文氏は昨日往訪者の質問に對し明確に民政府が引續き少ない。昨夕の經濟國難についてのスノーデン藏相の演説に對する市場の意見は目下區々である。然し市況は各方面とも頗る閑散で、優等證券及びインド證券は下押した。ヨーロッパ證券中特記すべきはドイツ公債が引續々ご出来相場は奔騰した。スチール株の如きは約四ドル方の昂騰を見たせが、これは一月末に於ける同社鋼鐵註文残高が四百三十三萬二千トンと意外に多かつた爲である。この外に穀物、棉花、銅、銀等が聴りしてゐる事も好材料であった。利喰賣りは時々出たが一向利き目なく相場は上向歩調をゆるめなかつたが、引際には又復新たに利喰ひ賣り現はれ高値より幾分引弛んだ然し引際氣配は強硬であつた。諸株賣買出來高は四百八十萬株。

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

爲替・銀塊

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

爲替・銀塊

ロンドン 二月十二日(木)

組合銀行が納稅關係で多額の回収を行つたので資本の供給は更に減少した手形の割引市場は閑散乍ら聴り。

外國爲替は何れもボンドに有利に動いた。尤も本日はスノーデン藏相の經濟國難演説により稍々不透明である。

一方支那爲替は落付かない。日本爲替は閑散である。

爲替・銀塊

金 物 相 場

			二 月	
十四日(土)	十三日(金)	十二日(木)	十一日(水)	九日(月)
休	四四・卅二分五	四五・卅二分九	四五・卅二分九	四四・卅二分九
一	四五・十六分一	四五・十六分一	四五・卅二分一	四五・卅二分一
一	四五・廿二分一	四五・廿二分五	四五・廿二分九	四五・廿二分九
	四七・三分三	四七・四分三	四八・八分五	四六・四分三
	四七・二分一	四七・三分一	四七・四分三	四六・四分三
	哭	哭	哭	哭
	哭	哭	哭	哭

			現物	先物	標準銀(一噸)
六・十六分三	一八・十六分五	博			
六・八分三	一七・八分七	博			
七・十六分九	一八・十六分五	博			
六・十六分三	一七・十六分一	博			
五・十六分五	二七・二分一	博			
		現物	先物	亞鉛(一噸)	
		三・八分一	三・四分一	三	三・三分
		三・二分一	三・八分五	二	三・四分一
		三・四分三	三・十六分十三	二	三・十六分五
		一八・八分一	三・十六分五	三	三・十六分五
		二三・十六分一	三	三	三・三分
		二三・四分一	三	三	三・三分
		三			三・三分

クーヨーユニ

休	三五・九〇	休	三五・七〇	一休	三五・五〇	横濱
休	一〇・三〇	休	一〇・五〇	一休	一〇・三〇	（一 嶺）
休	九八〇	休	九八〇	一休	九八〇	（ハングルガ）
休	九八〇	休	九八〇	一休	九八〇	（一封度）

替爲濱構

場 相 替 為 國 外

二月	ロンドン (留比)	日本 (百圓)	ニュヨーク (百弗)
九日(月)	志賀四分三	毛八分五	毛八二分
十日(火)	一〇五四分三	毛八分五	毛八二分
十一日(水)	一〇五四分三	毛七八分五	毛七八分
十二日(木)	一〇五四分三	毛七八分五	毛七八分
十三日(金)	一〇五四分三	毛七八分五	毛七八分
十四日(土)	一〇五四分三	毛七八分五	毛七八分
十五日(日)	一〇五四分三	毛七八分五	毛七八分

ワヤシ	ロンドン	日本
三〇三〇分	(一仙)	百圓
三〇二二分	三〇三〇	三〇三〇
三〇一一分	三〇三〇	三〇三〇
三〇二一分	三〇三〇	三〇三〇
三〇二〇分	三〇三〇	三〇三〇
三〇一九分	三〇三〇	三〇三〇
三〇一八分	三〇三〇	三〇三〇
三〇一七分	三〇三〇	三〇三〇
三〇一六分	三〇三〇	三〇三〇

タツカルカ

日質有
シードニ一

場相債社公

金塊相場

ロンドン

クーヨーユニ 外國銀 (一オング) イ・ベン・ボ (百トラ) レ・バ・ラ・ラ・ラ・ラ・ラ・ラ

上 海 金 塊

場相式株

二月	
九日(火)	八日(月)
十一日(水)	十日(火)
十四日(土)	クーヨーユニ
休	(百弗)ル株
四五・四分三	一四・四分三 一四・四分一
三三・二分一	三三・八分一 三七
二九・二分一	二一・七 二一・七
一〇九・八三	一〇九・八三 一〇九・九
八〇・四	八〇・九 一三
三四	三三・四分三 一七・四分三
一七・四分三	一八・四分一 一八・四分三
一八・四分三	一九・四分三 一九
四二・八分五	四二・四分一 四二・四分三
一〇〇	三〇〇

利		金			
クーヨーユニ					
休	休	歩		マニ ネー ル	
一・三分		一・八分三	歩	三日	
		一・八分三		六日	一 流 銀 行 引 手 形 割 引 率
一・三分		一・八分三	歩	九日	
		一・八分三			
一・三分		一・八分三	歩		
		一・八分三			
一・三分		一・八分三			
		一・八分三			
一・三分		一・八分三			
		一・八分三			
ンドン口				拂手形 割引率	
二・九分十九	二・六分九	二・九分七	歩		
		二・三分一			

大連特產

二月
十九日
十一日
十三日
十四日
(土)
(金)
(水)
(火)
(月)

大豆

休	現物	二月限	三月限	四月限	五月限	六月限
休	豆	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五
休	豆	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五
休	豆	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五
休	豆	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五	二・一五

小麥相場

二月
十九日
十一日
十三日
十四日
(土)
(金)
(水)
(火)
(月)

ゴカシ

休	現物	五月限	七月限	九月限
休	豆	八三・分二	六九・分一	七一・分一
休	豆	八三・分五	七一・分三	七二・分三
休	豆	八三・八分五	七一・八分三	七二・八分三
休	豆	八三・八分五	七一・八分三	七二・八分三

大豆

十四日限(百斤銀建)△印前引

休	現物	二月限	三月限	四月限	五月限	六月限
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇

油豆大

休	現物	二月限	三月限	四月限	五月限	六月限
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇
休	豆	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇	六・一〇

票銀

休	現物	二月限	三月限	四月限	五月限	六月限
休	豆	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五
休	豆	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五
休	豆	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五
休	豆	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五	四・一五

粉麥小海上

休	休	休	二月限	三月限	四月限	五月限
休	休	休	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇
休	休	休	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇
休	休	休	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇
休	休	休	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇	二・一・九〇

米期阪大

休	休	休	二月限	三月限	四月限	七月限
休	休	休	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四
休	休	休	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四
休	休	休	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四
休	休	休	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四	二・七・六四

護謨相場

二月
十九日
十一日
十三日
十四日
(土)
(金)
(水)
(火)
(月)

ンドンロ

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三
休	豆	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三
休	豆	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三
休	豆	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三	三・一・六分三

クヨーユニ

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	一・三	一・三	一・三	一・三
休	豆	一・三	一・三	一・三	一・三
休	豆	一・三	一・三	一・三	一・三
休	豆	一・三	一・三	一・三	一・三

ドンラトーホ

五月渡

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分

場相脂油

三月限

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一
休	豆	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一
休	豆	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一
休	豆	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一	三・一・八分一

グッベニイウ

五月限

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分
休	豆	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分	六・三・一分

砂糖相場

二月
十九日
十一日
十三日
十四日
(土)
(金)
(水)
(火)
(月)

クヨーユニ

休	現物	五月限	七月限	九月限	十二月限
休	豆	一・三	一・三	一・三	一・三
休	豆	一・三	一・三		

リヴァーブル棉花市況

リヴァーブル二月十四日(土)

現物には相當引合がある。定期市場の商内も幾分活氣付いて來た。ボンベイ及び大陸筋が活躍してゐる。十三日(金)には乗換えの爲め可成り多量の賣り物が出たがこれにも拘らず相場は昂騰した。これは織布争議解決が好感を與へたからである。尤も市場は今十四日には若干ボンヤリとなつてゐる。

エヂブト棉は初め碇りあつたが其後アレキサンドリア市場からの入報が稍々不味くなつたに連れ引弛み歩調を示してゐる。

綿糸布市況

マンチエスター

二月十一日(水)

綿糸も綿布もランカシア織布争議に伴ふ受渡困難に災ひされて取引は依然持々しくない。然し引合は相當多い。綿糸の相場は左の通り。

八片一九片半
九・半一二・四
一〇・七・四
一〇手(エヂブト棉)五・四一七・四
一〇手

争議解決好感を與ふ

マンチエスター二月十四日(土)

△綿布織布業のロツク・アウトが撤回され十六日(月)から工場再開に決したことは市場に好感を與へた。争議解決と共に受渡しに關する懸念が一掃されたので海外からの引合、特にインドからの引合は増加すべく、商談の成立市況は餘り變らない。其他の市場へはするものも多くなるだらうと見られてゐる。インドからの引合は從來餘りモノにならなかつたのである。支那向の△綿糸原棉高につれ引合は増加したが、紡績筋の腰が碇りしてゐるため出来商内はボツボツに過ぎない。

エヂブト棉綿糸は撚糸には若干需要があるが、その他のものは買ひ氣依然不振である。

イギリス綿糸布輸出高

ロンドン二月十二日(木)

(イギリス商務省發表)

イギリス紡績の生産統制案

マンチエスター二月十三日(金)

| 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 | 十月 | 十一月 | 一二月 | 本年一月 | 二月 | 三月 | 四月 | 五月 | 六月 | 七月 | 八月 | 九月 |
<th rowspan="
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |

イギリス昨年第四期對支輸出額

イギリス商務省發表、昨年第四期(十、十一、十二月)のイギリス對支輸出額(再輸出を含む)は左の通り。(單位千ポンド)

輸出總計	内支那本土向	香港向
一昨年第二期	四八八	三三九
第三期	五四九	三六三
第四期	四五五	三〇九
昨年同期	四五五	三〇九

〔備考〕

輸出總計	内支那本土向	香港向
一年計	三三九	三三九
前年同期	三三九	三三九
二年同期	三三九	三三九
三年同期	三三九	三三九

イングランド銀行週報統計

銀行週報

△過去六ヶ月同月

本年十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月

七月

六月

五月

四月

三月

二月

一月

十二月

十一月

十月

九月

八月</p